

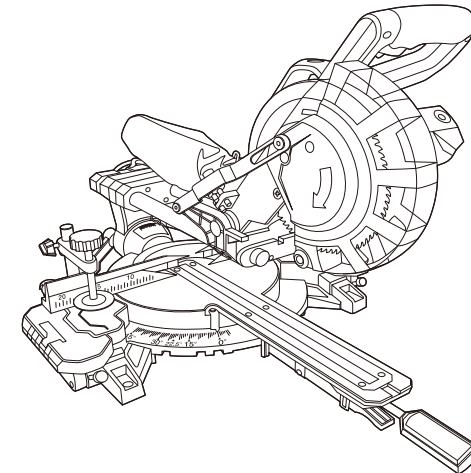
trad[®]

スライド丸のこ

形式名 TSC-190B(190mm) 取扱説明書

目次

●安全上のご注意-----	1	●スライド丸のこ使用上のご注意-----	4
●各部の名称-----	6	●仕様-----	8
●付属部品・用途-----	8	●ご使用前の準備-----	9
●ご使用方法-----	14	●のこ刃の取り外し・取り付け方法-----	14
●保守・点検について-----	23	●部品展開図-----	25
●部品リスト-----	26		



二重絶縁

輸入発売元



株式会社 三共コーポレーション

■本社物流センター品質管理室

〒639-2127 奈良県葛城市新町258番地1
TEL (0745) 62-1221 FAX (0745) 62-1777

■本社

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4丁目6番6号
TEL (06) 6252-1712 FAX (06) 6251-4693

■三木営業所

〒673-0402 兵庫県三木市加佐234-1
TEL (0794) 83-1661 FAX (0794) 83-1665

■東京営業所

〒121-0824 東京都足立区西伊興4丁目10-24
TEL (03) 3857-0211 FAX (03) 3857-0215

■福岡営業所

〒812-0068 福岡県福岡市東区社領2丁目9-22
TEL (092) 622-4961 FAX (092) 622-4965

この度は、trad POWER TOOLS スライド丸のこをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

お買い上げいただきました、スライド丸のこを安全に、正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは次のご使用に備え取り出しやすい場所に保管ください。

安全上のご注意

本文中の「△警告」および「△注意」と区分し次のような意味を表します。
△注意に記載した内容でも状況によっては重大な事故に繋がる恐れがあります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載しています。必ず守ってください。

△ 警告 誤った取り扱いをした時、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容についての注意事項。

△ 注意 誤った取り扱いをした時、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容についての注意事項。

電動工具の使用に対する安全上のご注意(共通事項)

- 火災、感電、ケガなどの事故を未然に防止するために、「電動工具の使用に対する安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用の前に「電動工具の使用に対する安全上のご注意」の全てをよくお読みになり、指示にしたがって正しく使用してください。
- お読みになった後は、次に備えていつでも見られる場所に必ず保管ください。作業場などでは、常に取扱説明書の保管場所を決めておく必要があります。

△ 警告

- 1.作業場は、いつも整理整頓に心掛けてください。**
 - 乱雑な場所や作業台は事故の原因となります。
- 2.作業場は周辺環境まで考慮してください。**
 - 電動工具を雨中で使用したり、湿った場所、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は明るくしてご使用ください。薄暗い場所での使用は事故の原因となります。
 - 引火物や可燃性のある場所や、保管場所の近くでは使用しないでください。
- 3.感電に注意してください。**
 - 濡れた手で使用したり、濡れた手袋をはめて使用しないでください。
 - 電動工具を使用中、体をアースされているものに接触させないでください。
(例えば、パイプ、電子レンジ、暖房器具、冷蔵庫の外枠など)
- 4.子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具や、コード線など周辺機器に触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場には近づけないでください。
- 5.無理な使用はしないでください。**
 - 電動工具は、それぞれ適正な能力を持ちます。安全に効率よく作業をするために、電動工具の能力に応じた使用をしてください。
- 6.作業に応じた電動工具を使用してください。**
 - 電動工具に指定された用途以外に使用しないでください。
 - 高負荷を要する作業に小形の電動工具やアタッチメントの使用はしないでください。
また、それぞれの電動工具の付属品は専用に設計されています。目的以外の用途に使用しないでください。

7.きちんとした服装で作業をしてください。

- だぶついた衣類、ネクタイ、ネックレス、プレスレット、指輪を嵌めての作業は、電動工具の回転部に巻き込まれる恐れがありますので装着しないでください。
- 屋外での使用には、ゴム手袋や滑り止めのついた履物の着用をお勧めします。
- 長い髪は帽子やヘアバンドで覆ってください。

8.防具を必ず着用ください。

- 作業中は保護メガネ、防塵マスク、イヤーマフなど状況に応じ防具を着用してください。

9.コードは乱暴に扱わないでください。

- コードを持って、電動工具を高所から降ろしたり、運んだりまた、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角張った場所などから避けてください。

10.加工物はしっかり固定してください。

- 加工物は、バイス、万力、クランプなどでしっかり固定し作業をしてください。電動工具の回転による反動から万一の事故を防げます。

11.無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとらせ、バランスの取れた体勢で作業をしてください。
特に高所の作業には、命綱などで体を結わくなど安全には万全を期するよう配慮してください。

12.次の場合は、必ず電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない時や修理をする場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの取り付け、交換およびその他付属品の取り付けや交換をする場合。
- 作業中にブレーカーが落ちたり、停電となった場合。

13.調節キーやスパナなどは必ずはずしてください。

- 電源を入れる前に必ず調節に用いた、キーやスパナなどの工具類が取り外してあることを、確認してください。

14.不意な始動はしないでください。

- 電動工具を電源につないだ状態でスイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れているか確かめてください。

15.屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

16.電動工具は慎重に扱い、十分注意をして作業をしてください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周辺の状況に充分配慮し作業をしてください。
- 体調が万全でない場合は電動工具を使用しないでください。

17.指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書や弊社のカタログ、電動工具関連資料などに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

18.損傷した部品がないか点検してください。

- 使用の前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないかよく点検し、正常に作動するか、また所定の機能を発揮するか確認をしてください。
- 可動部分の位置調整や、締め付け状態、部品の破損、取り付け状態その他、運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常のないことを確認してください。

19.電動工具は注意深く手入れをしてください。

- 安全に効率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保つようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取り扱いに従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社の営業所にお問い合わせください。

20.使用しない時は必ず保管をしてください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない場所か、鍵の掛けられる保管庫などの安全な場所に保管してください。

21.電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- 電動工具は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店か、弊社営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理しますと十分な機能を発揮しないばかりか事故やケガの原因となります。

■騒音に関する法条例について

ご使用に際し、各都道府県の条例で定める工場や事業所で使用する場合は周囲に迷惑をかけないよう各条例で定めた騒音値以下での使用が必要です。遮音壁を設けるなど、騒音対策の上で使用ください。

スライド丸のご使用上のご注意

先に電動工具の使用に対する共通の注意事項を述べましたが、「スライド丸のこ」をさらに安全に正しくご使用いただくために以下の注意事項を遵守ください。

警告

- 1.電源は、銘板に表示してある電源でご使用ください。**
 - 表示以外の電圧では、回転が異常に高くなったり、過負荷となり本製品の機能が発揮されないだけでなく、事故の原因に繋がる恐れがあります。
- 2.ご使用前には試し運転をしてください。**
 - 周囲の安全を見極めたうえで、約1分間の試し運転を行い、のこ刃の振れや本体の異常な音、振動のないことを確認してください。
- 3.安全カバーは取り外さないでください。**
 - 安全カバーを外してお使いになりますと、回転中、停止時を問わず思わぬ事故の原因になります。また、安全カバーはスムーズに可動することを確認ください。
- 4.用途目的に沿った使い方をしてください。**
 - 木工以外の金属などの切断には使用しないでください。
- 5.のこ刃は必ず指定のものをご使用ください。**
 - 外径185～190mm、内径20mm以外ののこ刃は使用しないでください。
- 6.のこ刃にヒビ、割れ、カケ、曲がりなどのないことを確認してから使用してください。**
 - 異常があると、のこ刃が破損しケガの原因になります。
- 7.使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。**
 - ケガの原因となります。
- 8.のこ刃や付属品は説明書に従って正しく、確実に取り付けてください。**
 - のこ刃や付属品が正しく取り付けいていないと思わぬケガや事故の原因となります。
- 9.縦バイスで固定できない小さな加工品は切断しないでください。**
 - 縦バイスに確実に固定できないと、加工物が縦バイスから外れ、思わぬケガの原因となる恐れがあります。
- 10.加工物は小さく切り落とさないでください。**
 - 加工物がのこ刃に巻き込まれ反動で飛散する場合があります危険です。
- 11.使用中は機体を確実に保持ください。**
 - 機体にガタつきがあったりすると機体がブレて危険です。機体を確実に保持してご使用ください。
- 12.切断作業の途中でのこ刃を回転させたままハンドルを戻さないでください。**
 - 反発力により反動でケガの原因になる恐れがあります。切断中にハンドルを戻すときは、スイッチを切り、のこ刃の回転が完全に停止してからハンドルを戻してください。
- 13.使用中、機体の調子が悪かったり、異常を感じた場合は直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に申し出てください。**
 - そのままの使用はケガの原因となるばかりでなく、製品の損傷に繋がります。
- 14.のこ刃を交換するときは必ず機体のスイッチを切り、コードプラグを電源から抜いてください。**
- 15.作業直後ののこ刃や加工物の切断部は熱くなっています。**
 - やけどの恐れがあります。作業直後は、のこ刃や加工物の切断部が冷えていることを確認してからお取扱ください。
- 16.落下させたりぶつけた場合は、のこ刃や機体に破損、亀裂、割れ、カケ、変形などのないことを確認してください。**
 - 破損や亀裂、変形があるとケガの原因ばかりでなく、機体の破損に繋がる恐れがあります。

⚠ 注意

1. 試運転を必ず励行してください。

試運転時間の目安

のこ刃交換のとき……3分以上

始業前点検………1分以上

●試運転をしないで作業を始めることはケガの原因になります。

2. 高所作業のときは、周辺の環境をよく確認してください。コード線を引っ掛けたりしないよう注意してください。

●材料や機体を落としたとき、事故の原因となります。

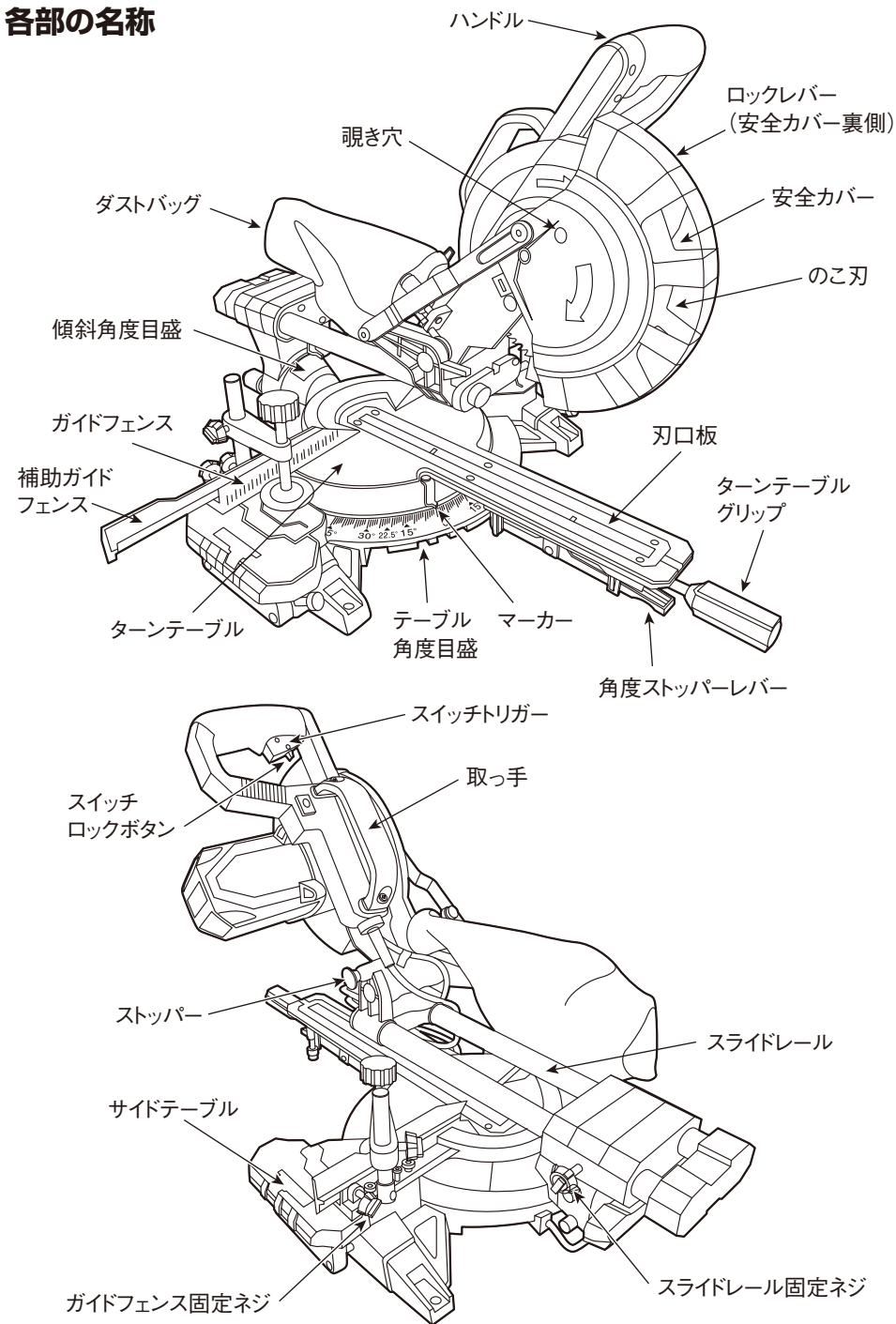
3. 材料は確実に固定してください。

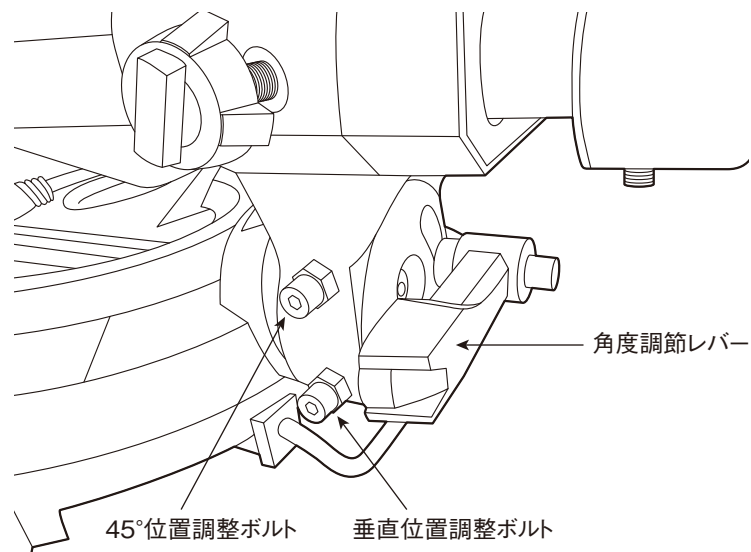
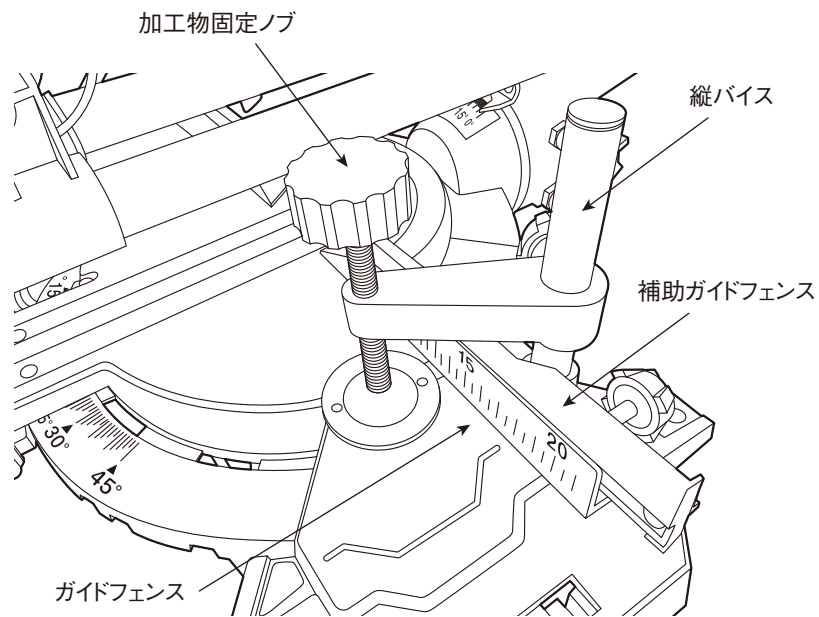
●固定が不十分な場合、のこ刃が破損したり、材料が飛び出したりし事故の原因となります。

4. 回転させたまま放置しないでください。

●ケガの原因となります。

各部の名称





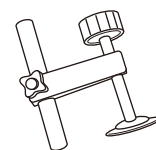
仕様

形 式	TSC-190B		
定 格 電 圧	AC 100V		
周 波 数	50-60Hz		
定 格 電 流	13A		
定 格 消 費 電 力	1200W		
定 格 時 間	30分		
無 負 荷 回 転 数	4000min-1		
絶 縁 構 造	二重絶縁		
のこ刃	サ イ ズ	(外径)190・(厚さ)2.0・(内径)20mm・P72	
	使用可能範囲	185~190mm	
切断能力	のこ刃角	90°	45°
	ターンテーブル	0°	約55×330mm
	角 度	45°	約30×330mm
コ ー ド 線 長 さ	2.0m \times 2C \times 約2000mm		
質 量	12kg		

*切断能力の数値は、のこ刃サイズが190mmの場合です。

*予告なく仕様を変更することがあります。

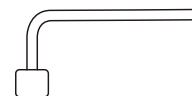
付属部品



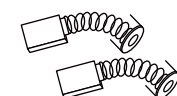
縦バイス



ダストバッグ



ボックスレンチ



カーボンブラシ



六角棒レンチ
(6mm・3mm各1)

用途

- 木材の切断。
- *一般家庭用向け製品です。業務用にはお使いにならないでください。

点検

ご購入時には次の点をお調べください。

- 輸送途中に損傷した箇所がないか。
 - ネジやボルトの緩み、脱落はないか確認ください。
 - 梱包箱には本体のほか付属部品が揃っているか確認ください。
- 万一不具合な点がありましたら、お買い上げ店にお申し付けください。

ご使用前の準備

スライド丸のこをご使用になる前につぎの準備をしてください。

警告

●作業する環境が注意事項に記載されているような安全な状態であるか確認をしてください。

●延長コード

延長コードは使用する機体の容量より低いものであったり、長すぎたりしますと電圧変動により、製品本来の機能を発揮しないので必ず適切なサイズを使用ください。

ご参考

コード芯線の太さ(公称断面積)	2mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²
延長コードの長さ	15m以内	30m以内	50m以内

警告

●スイッチが切れていることを確認してください。

スイッチが入ったままコードプラグを電源に差し込むと不意に起動し思わぬ事故の原因となります。

●銘板に記載された電源条件で使用してください。

100Vを200Vで使用すると、モーターの回転数が異常に高速となり、機体破損などの恐れがあり、大変危険です。

●雨中では使用しないでください。

本機は二重絶縁構造ですが、安全のため雨中での使用はしないでください。

●電源コンセントの点検をしてください。

コードプラグを差し込んだとき、ガタついたりすぐ抜けるようであれば修理が必要です。

●必ず試運転を行ってください。

のこ刃を交換したときや始業前には必ず試運転し、異常音、振動、ガタつきなどの異常がないことを確認してください。

試運転時間の目安

のこ刃交換のとき……3分以上

始業前点検………1分以上

安全カバーは確実に取り付けられているか確認してください。

●作業を開始する前に、周辺の環境を確認し安全を確かめてください。

機体は平坦な場所に据付け、周辺が乱雑になっていないようにし、特に子供は作業近くに立ち入らないでください。

■付属部品の取付

□ダストバッグの取付け

ダストバッグの取り付け口のピンを摘んで開き、機体のダストノズルの切り込み溝に嵌め込んでください。

ダストバッグを取り外す場合は、逆手順で行ってください。

*ダストバッグを取り外すときはダストバッグ内に粉塵がたまっているのでご注意ください。

□縦バイスの取り付け方

用途に応じ左右にある縦バイス取り付け穴の何れかにセットし固定ネジをしっかりと締めてください。

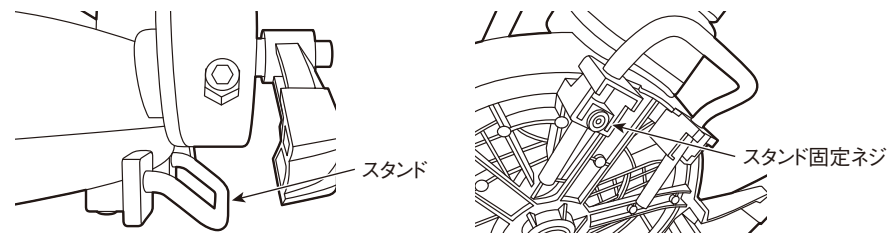
各部の調整

機体の据え付けを安定させ、安全に作業をするために次の調整をしてください。

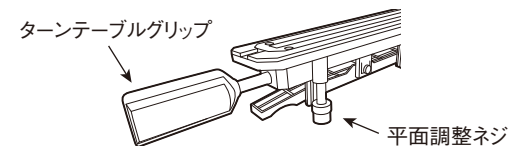
■機体安定のための調整

ご使用時の作業台などの状態により、機体後部のスタンドを引き出せば、より安定します。

スタンドはテーブル裏の、スタンド固定ネジを付属の六角棒レンチ(M3)緩めて調整してください。調整後はしっかりと締めてください。

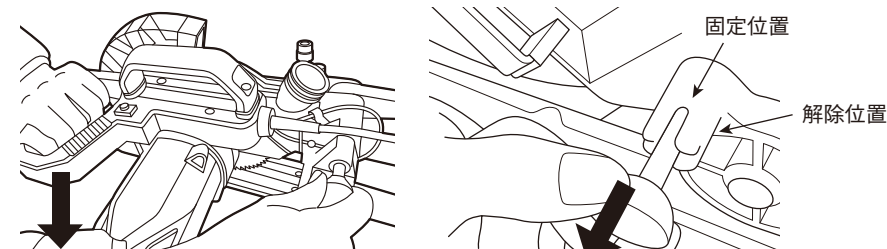


機体の平行を保つために、ターンテーブルグリップ側面の平面調整ネジで調整してください。



■ストッパーの解除と固定

ハンドルを軽く下に押さえながら、ストッパーを引き、90°回転させてストッパーを解除位置に合わせて下さい。



* ハンドルを軽く押さえ下げます。

* ストッパーを手前に引きながら90度回転させる。

注意

●一旦ストッパーの固定を解除し、ハンドルを持ち上げた状態でストッパーを固定位置に戻さないでください。

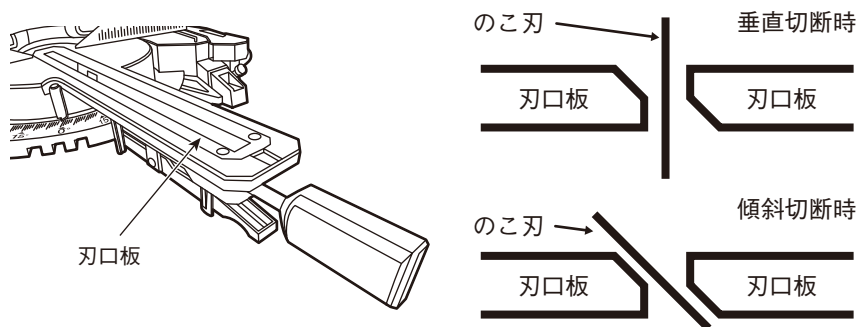
ハンドルを下げたときに突然機体が固定され、思わぬ事故の原因となります。

■刃口板

傾斜切断時にはのこ刃と平行になるようにハンドルを押さえ切断してください。

⚠ 注意

- 傾斜切断時、のこ刃に対して垂直方向にハンドルを押さえると、のこ刃が刃口板に接触する場合があります。



■切り込み深さの調整

⚠ 警告

- のこ刃を交換したときは、のこ刃がターンテーブル底面に当たらないか、切り込み深さを確認してください。

⚠ 注意

- 本機は、外径190mmののこ刃を基準に切り込み深さが調整されています。190mm以外ののこ刃を使用するときは、以下の手順で切り込み深さの調整を行ってください。

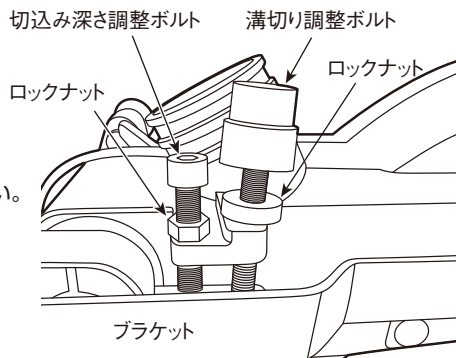
機体のストッパーを解除し、ハンドルを軽く押さえながら、ブラケット面に切り込み深さ調整ボルト先端を当てた状態で切り込み深さ調整ネジを回します。

1. ロックナットを反時計方向に回し緩めます。

- 切り込み深さを深くする
切り込み深さ調整ボルトを反時計方向に回します。

- 切り込み深さを浅くする
切り込み深さ調整ボルトを時計方向に回してください。

2. ロックナットをしっかり締めてください。

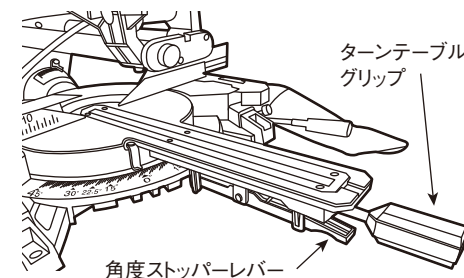


■角度切断の角度設定方法

⚠ 注意

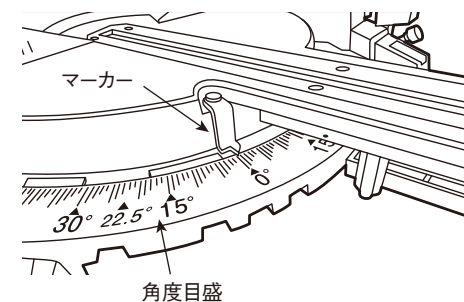
- ターンテーブルの角度は目安としてご使用ください。あらかじめ不要材料で試し切りのうえ切断角度を確認してください。
- 切断角度の設定はハンドルを上げた状態で設定してください。
- マーカがずれたときは適切な位置に設定し直してください。

1. ターンテーブルグリップを反時計方向に回し緩め、角度ストッパーレバーを握りながら左右に回転させることができます。
2. ターンテーブルについているマーカをターンテーブル角度目盛に合わせ切断角度を設定してください。
3. 角度を決めたらターンテーブルグリップをしっかり締めてください。



*角度設定

ターンテーブルは左右ともに0°を中心に15°、22.5°、30°、45°の設定ができます。



■傾斜切断の角度設定方法

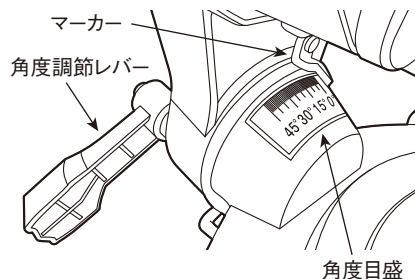
⚠ 警告

- 傾斜角度を変更した後は、必ず角度調整レバーが、しっかりと締まっていることを確認してください。また、スイッチを入れる前にも、必ず角度調整レバーがしっかりと締まっていることを確認してください。

⚠ 注意

- 傾斜角度目盛は目安としてご使用ください。不要の材料で試し切りのうえ傾斜角度をご確認ください。
- 切断角度は、ハンドルを上げた状態で設定してください。
- 本機の傾斜切断可能範囲は45°です。

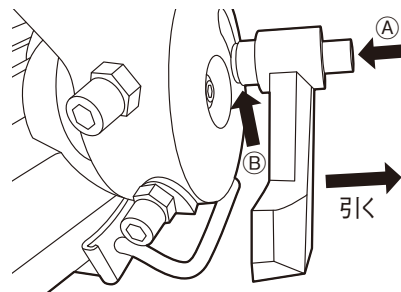
- 1.角度調節レバーを緩め、ハンドルを持ち左に傾けながら、角度を設定し角度調節レバーでしっかり固定してください。
- 2.固定するときは、角度調節レバーを時計方向に回し、緩めるときは、反時計方向に回してください。
- 3.ご使用時は、角度調節レバーが下にくるように固定してください。



*緩締の際に角度調節レバーが作業台面などに当たり緩締調整ができない場合、次のようにしてください。

1. 締める場合

角度調節レバー先端の突起部(図A)に親指を当てながら、指先で角度調節レバーを矢印側に軽く引くと角度調節レバーは、内部のボルトから外れるので、角度調節レバーを、締め代が必要な位置まで上の方向に移動させ(図の矢印B)、指を離せば増し締めが可能になります。



2. 緩める場合

締める場合の説明の逆手順で行ってください。

■縦バイスの利用法

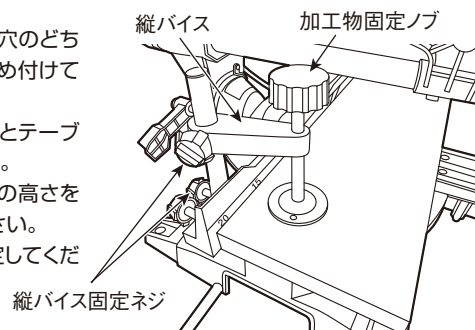
⚠ 警告

- 安全に作業を行うために、加工物は縦バイスで確実に固定してください。加工物の固定が不安定ですと切断中の反動で加工物が飛散し、ケガの原因になります。
- 固定バイスで固定できない小さな加工物は切断しないでください。

⚠ 注意

- ハンドルを最下点まで下げたときや、最も奥までスライドさせたとき、縦バイスがどこにも接触していないことを確認してください。
- 接触している場合は、縦バイスの位置を変えて取り付けてください。
- 縦バイスで固定できる加工物の最大厚さは55mmです。これ以下で使用してください。

- 1.縦バイスは左右2か所にある縦バイス取り付け穴のどちらかに差込み、縦バイス固定ネジをしっかりと締め付けてください。
- 2.加工物は、ガイドフェンスおよび補助フェンスとテーブル面に密着させ、切断位置を合わせてください。
- 3.加工物の厚さに合わせて、縦バイスのアームの高さを決め、縦バイス固定ネジをしっかりと締め付けてください。
- 4.加工物固定ノブを締め、加工物をしっかりと、固定してください。



ご使用方法

■のご刃の取り付け・取り外し

⚠ 警告

- のご刃の取り付け・取り外しのときは、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。不意にモーターが始動すると思わぬ事故の原因となります。
- のご刃を取扱う場合は必ず手袋を着用し、安全には十分注意をしてください。
- のご刃は正しい回転方向に取り付けてください。取り付け方向が正しくないと、のご刃先をいためるばかりでなく、思わぬ事故の原因となる恐れがあります。

⚠ 警告

- のご刃はカケ、割れなど異常がないか、まめに点検をしてください。また、切れ味が悪いのご刃は切断能力を妨げるばかりか、モーターへの過負荷の原因になります。
- のご刃の取り付け、取り外しは付属の工具をご使用ください。他工具のご使用では締めすぎや締め付け不足に十分ご注意ください。

□取り外し方

- 1.右図1のように、安全カバーの覗き穴から見える安全カバーベースのネジを、お手持ちの+ドライバーでネジ山の4~5山相当を緩めてください。

注:①ネジを緩めすぎるとネジが外れてしまうので、最初はネジ3山程度緩め、ネジが外れないことを確認しながら行ってください。

*ネジは反時計方向に回せば緩み、時計方向に回せば締まります。

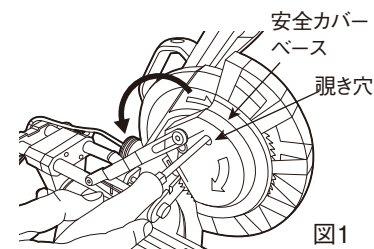


図1

- 2.ネジを緩め、安全カバーベースを図1の矢印方向にスライドさせると図2のように図1で緩めた、ネジが現れます。

*ネジはガイドプレートのネジ溝から外れていることを確認してください。

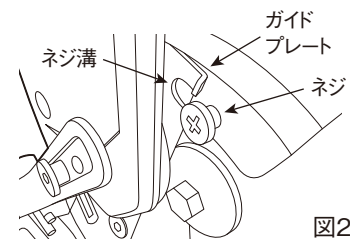


図2

- 3.付属のボックスレンチをのご刃取り付けボルトに取り付け、安全カバー裏側にありますロックレバーを押しながらボックスレンチを回せば、ストッパーが働きます。

ストッパーが働き、のご刃がロックしたことを確認し、図3のようにのご刃取り付けボルトを緩め、のご刃を取り外します。

*のご刃取り付けボルトは逆ネジとなっております。

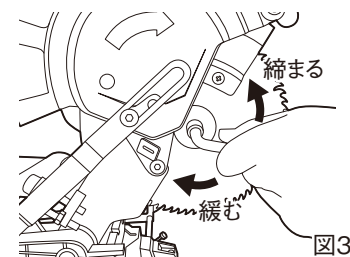


図3

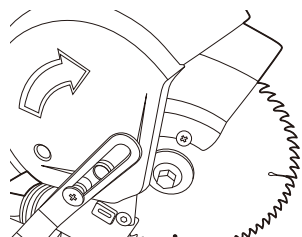
- 4.安全カバーベースを元の位置に戻すときは、必ずネジがガイドプレートのネジ溝に嵌っていることを確認してから、安全カバーベースを戻してください。

- 5.安全カバーベースを元の位置に戻したら、図1のように、覗き穴に+ドライバーを差し込み、しっかりとネジを締めてください。

⚠ 警告

- この刃を取付けるときはフランジ面に打痕、変形がないか確認してください。フランジに打痕や変形があると、この刃の振れの原因になり危険です。
- この刃の取付けは、この刃の回転方向と機体の回転方向に必ず合わせてください。フランジに打痕や変形があると、この刃の振れの原因になり危険です。
- この刃取付けボルトが確実に締まっているか確認してください。
- 安全カバーが確実に正しい位置にあることを確認し、周囲の安全を確認し約3分間の試運転を行ってから作業を始めてください。

1. 取外し方説明の1(図1)および2(図2)に準じ、この刃を取り外せる状態にします。(右図参照)
2. この刃を取付けたら、付属のボックスレンチをこの刃取付けボルトに取付け、ストッパーを押さえながらボックスレンチを回せばストッパーが働きます。
*この刃取付けボルトはしっかり締めてください。
*この刃取付けボルトは逆ネジとなっております。

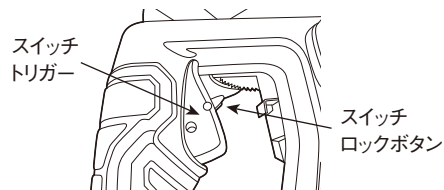


スイッチの操作

⚠ 注意

- コードプラグを電源プラグに差込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチのトリガーをテープなどで固定しないでください。緊急時にスイッチを切ることができず危険です。また、連続使用するとモーターが加熱する原因にもなります。

1. スイッチロックボタンと一緒にスイッチトリガーをひくとモーターが始動します。
2. スイッチトリガーを離せばモーターは停止します。



切断方法

⚠ 警告

- 作業環境を整え危険のないよう、安全性を確認してから作業を開始してください。
- 作業中は、防塵マスク、イヤーマフなどの防具を着用し、粉塵や騒音から身を守ってください。
- ターンテーブルグリップ、角度調節レバーはしっかりと締まっていることを確認してください。
切断中に各部が緩み材料が動くと、反動で思わぬ事故の原因となります。
- 切断中はこの刃を回転させたまま、ハンドルを戻さないでください。
反発力によりケガの原因となります。この刃の回転が完全に停止してからハンドルを戻してください。
- 加工物の切り落とし側が小さすぎると、この刃の回転で巻き込まれる恐れがあり、ケガや破損の原因となります。

⚠ 注意

- 本製品はDIY向けに開発しました。建築作業など高度な精度を求める加工には使用しないでください。
- 切断能力を超える加工物を切断しないでください。
- 連続作業をするとモーターが過熱する恐れがあり危険です。
- 切断をするときは、ハンドルを静かに下げ、押さえつけたり、左右に強い力をかけての使用はしないでください。
- 加工物が挟まり、この刃の回転が停止したときは、すぐにスイッチを切りコード線プラグを電源から抜き、挟まった加工物を取り除いてください。
- 傾斜切断、複合切断時には、安全カバーが加工物に接触し、切断しにくい場合や、安全カバーがこの刃に接触する場合があります。

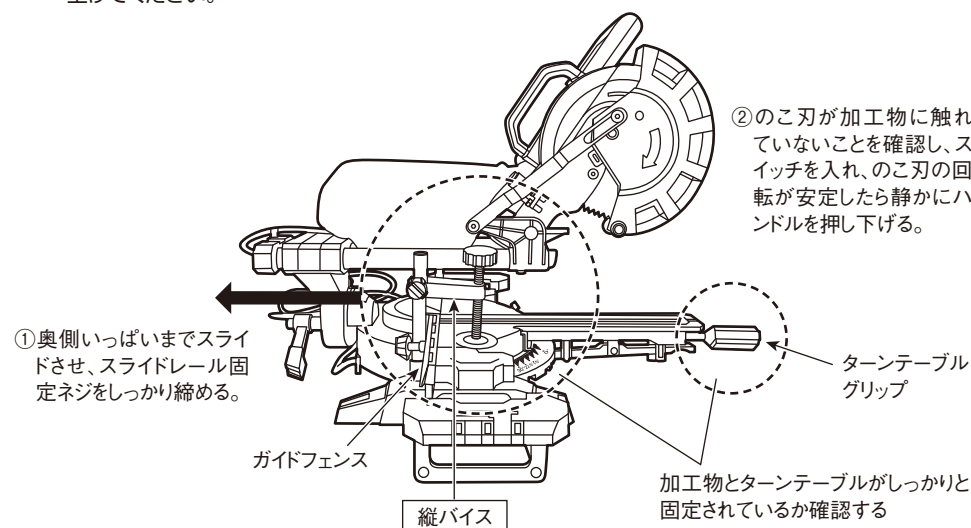
■押切り切断

約55×70mmの小物材の切断に適しています。

⚠ 注意

- スライドレール固定ネジをしっかりと締めてください。固定が不十分な場合、切断中に反発力を生じ、ケガの原因となります。

1. 機体を奥側いっぱいまでスライドさせ、スライドレール固定ネジをしっかりと締めてください。
2. 加工物をガイドフェンスとターンテーブルに密着させ、縦バイスで確実に固定してください。
3. この刃が加工物に触れていないことを確認し、スイッチを入れて静かにハンドルを押し下げ切断してください。
4. 加工物を切断し終わったら、その場でスイッチを切り、この刃の回転が完全に停止したら、静かにハンドルを上げてください。



■スライド切断

約55×330mmの幅広材の加工に適します。

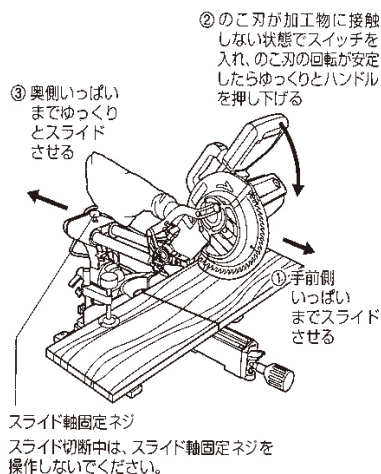
⚠ 警告

- のこ刃が回転中はスライドレール固定ネジは操作しないでください。
- スライド切断のときは、機体を手前いっぱいまで引き切断を開始してください。手前側いっぱいまで引かずに押し切りしたり、スライド切断すると、反発力を生じケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

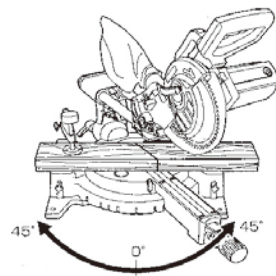
- スライド切断中はスライドを途中で止めないでください。スライドを途中で止めると、切断面にキズがついたりします。
- ストッパーでハンドルを下げた位置に固定してスライド切断はしないでください。

- 1.スライド固定ネジを緩め機体のスライド固定を解除してください。
- 2.加工物をガイドフェンスとターンテーブルに密着させて、縦バイスで確実に固定させてください。
- 3.ハンドルを持ち、機体を手前側いっぱいまで引いてください。
のこ刃が加工物に触れていないことを確認し、スイッチを入れてください。
- 4.のこ刃の回転が上昇し、安定したら、ハンドルを静かに最下点まで押し上げてください。
- 5.そのままの状態、機体を奥側にゆっくりとスライド切断してください。
- 6.加工物を切断し終わったらその位置でスイッチを切り、のこ刃の回転が完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。



角度切断

- ターンテーブルを回転させ、角度目盛りを合わせて、押し切り切断やスライド切断ができます。
- * 角度切断の角度設定方法の項をご確認ください。
- 最大厚さ約55mm×幅約230mmまで切断できます。
- * ターンテーブル左右45°、のこ刃傾斜0°のとき。



傾斜切断

⚠ 警告

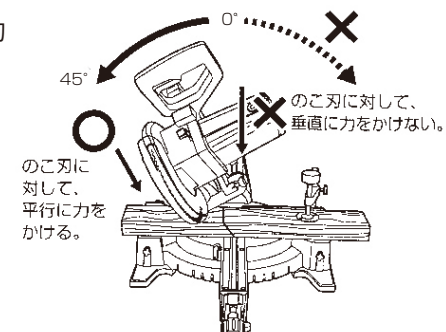
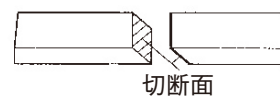
- 傾斜切断のとき、加工物を切断し終わったら、必ずのこ刃が完全に停止してからハンドルを上げてください。切り落とした加工材がのこ刃に巻き込まれ飛散する恐れがあります。

⚠ 注意

- 傾斜切断は、のこ刃と平行な方向に力が加わるようにハンドルを操作してください。切断中、力の加わる方向が変わると切断精度が低下します。

- のこ刃を左に傾斜させ、角度目盛を合わせ押し切り、スライド切断ができます。
- 厚さ約30mm×幅約330mmまで切断できます。
- * ターンテーブル角度0度、のこ刃傾斜左45°のとき。

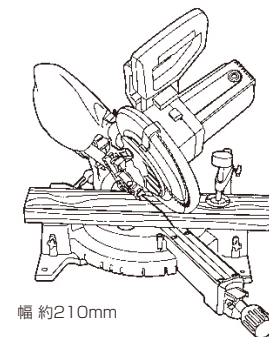
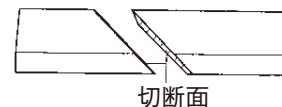
切断例



複合切断 角度切断+傾斜切断

- ターンテーブルを回転させての角度切断と、のこ刃を傾斜させての傾斜切断の複合切断ができます。
- * 厚さ約30mm×幅約230mmまで切断できます。ターンテーブル、のこ刃傾斜角度共45°のとき。

切断例



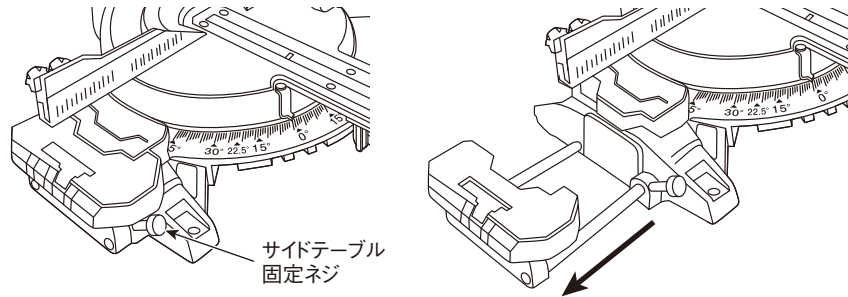
⚠ 注意

- 複合切断時、3cm以下に加工物を切り落とすと安全カバーに加工物が引っかかりスライド切断ができないのでご注意ください。

■長尺材の切断

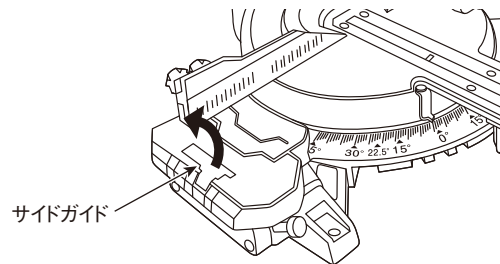
⚠ 注意

- 長尺材をテーブルに乗せた時、バランスが悪くなる恐れがあります。長尺材を切断するときは必ず、サイドテーブルを伸ばしてご使用ください。
- 加工物が、サイドテーブルを超える長さの場合は、加工物の切り落とし側にサイドテーブルと同じ高さの台を準備してください。

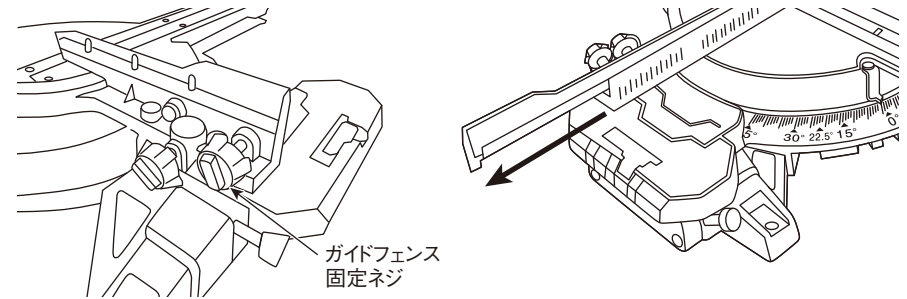


1. サイドテーブル固定ネジを緩めてください。
2. サイドテーブルを引き出してください。
3. 引き出した後は、サイドテーブル固定ネジを締め、動かない事を確認してください。

- サイドテーブルの端にありますサイドガイドを起こし、加工物が横に行かないようにできます。



- 長尺材の高さによっては、ガイドフェンスを引き出し、固定しやすくすることができます。

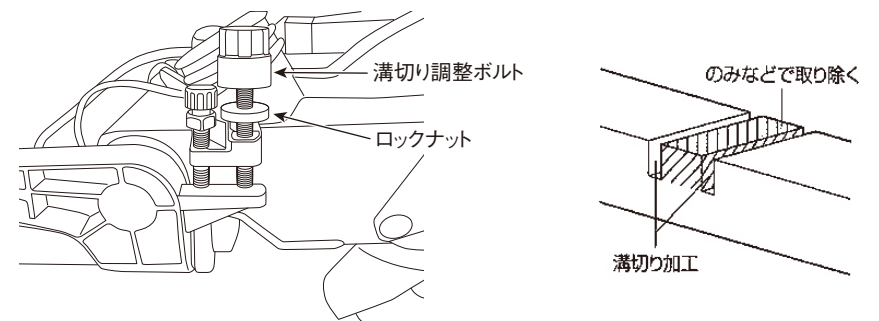


1. ガイドフェンス裏にありますガイドフェンス固定ネジを緩めてください。
2. ガイドフェンスを引き出してください。
3. 引き出した後は、ガイドフェンス固定ネジを締め、動かない事を確認してください。

溝切り加工

- 溝切り調整ボルトの調整により、のこ刃の切込み深さが調整でき、溝切り加工ができます。

1. ハンドルが上がった状態で、溝切り調整ボルトのロックナットを緩めてください。
2. 溝切り調整ボルトを時計回りに回すと、ボルトが下がります。任意の位置までボルトを回してください。
3. ボルトの位置が決まりましたら溝切り調整ボルトのロックナットを回し、固定してください。
4. スライド切断で溝を加工し、斜線部を「ノミ」などで取り除きます。
5. ボルトの高さ調整は、11ページの「切込み深さ調整ボルトの高さ調整」と同じ要領で行ってください。



手入れ

○各部の点検・調整

⚠ 警告

- 各部の点検・調整を行う場合は、スイッチが切れていることを確認し、コード線プラグを必ず電源から抜いてください。
- 作業前後に、各部のネジが緩んでいないか確認ください。緩んだままで使用しますとケガ、事故、破損の原因となります。

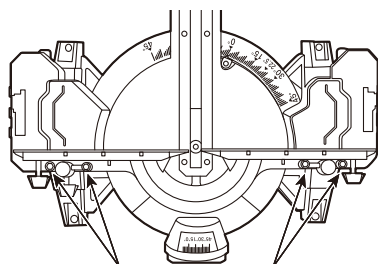
⚠ 注意

- 切断角度は、製品の組み立て完成時には十分調整してありますが、使用中に狂いが生じた場合は下記の手順で調整してください。
- 長期保管などをされた時も、ご使用前の点検、調整をお勧めします。

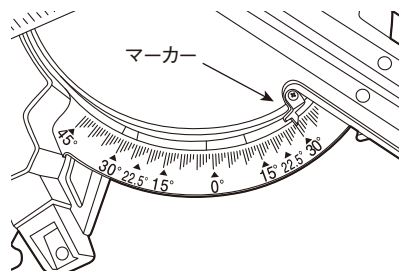
角度切断の角度調整方法

次の手順で調整を行ってください。

1. 機体を奥側いっぱいまでスライドさせ、スライドレールを固定してください。
ハンドルは下まで下げ、ストッパーで固定してください。
2. ターンテーブルグリップを緩め、角度ストッパーレバーを上げ、マーカをターンテーブルの角度目盛りの0°に合わせてから、仮位置決めポイントでターンテーブルがきちんと止まるように左右に軽く動かしてください。
3. ガイドフェンスを固定しているボルト4本を付属の六角棒レンチで緩めてください。
4. のこ刃とガイドフェンスに、三角定規でのこ刃とガイドフェンスが直角になるようにガイドフェンスの位置を合わせてください。
5. この状態で、ガイドフェンスが動かないように注意しながらボルトをしっかりと締めてください。
6. マーカーがターンテーブルの角度目盛0°に合っているかを確認し、合っていない場合はマーカのネジを緩め角度目盛の0に合せてください。



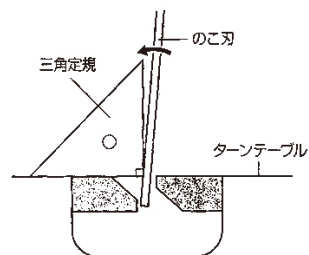
ガイドフェンス固定ボルト



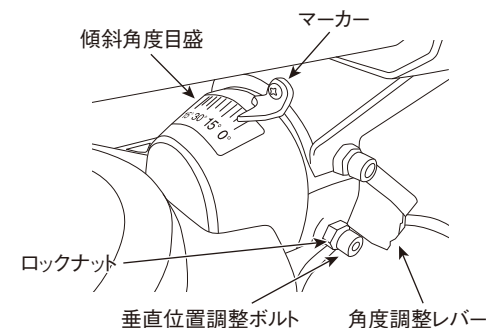
傾斜切断の角度調整方法(垂直位置)

次の手順で調整を行ってください。

1. ハンドルを下げ、機体を奥側いっぱいまでスライドさせスライドレールを固定してください。
2. 角度調整レバーを緩め、アーム付け根のマーカを角度調整目盛0°に合わせてください。
3. アーム右下部下段の垂直位置調整ボルトを付属の六角棒レンチで、左に2~3回程度回し、機体をモーター部側に傾け、マーカが傾斜角度目盛りより右に傾いているか確認してください。
4. のこ刃とテーブル面に三角定規をあて、のこ刃が垂直になるように垂直位置調整ボルトを時計回りに回してください。垂直位置調整ボルトを時計回りに回していくと機体が上がります。
5. のこ刃が垂直に調整できたら、角度調整レバーを締め、垂直位置調整ボルトのロックナットを締め付けてください。
6. アーム付け根のマーカが、傾斜角度目盛の0°に合っているか確認し、ずれている場合はマーカのネジを緩め、マーカを傾斜角度目盛りの0°に合わせ、ネジを締めてください。



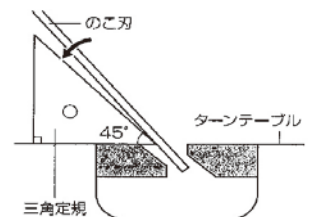
垂直位置調整ボルトを右方向へ回し、のこ刃とターンテーブルが垂直になるよう調整



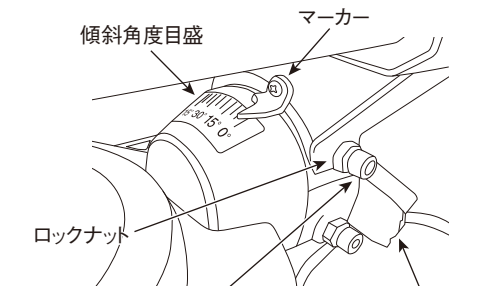
傾斜切断の角度調整方法(左45°位置)

次の手順で調整を行ってください。

1. のこ刃とターンテーブルが垂直になったとき、アーム付け根のマーカが傾斜角度目盛の0°に合っているか確認してください。
2. 傾斜角度調整レバーを緩め、機体を左45°に傾斜させてください。
3. 傾斜しているのこ刃とターンテーブルに三角定規をあて、45°になっているか確認してください。
4. 傾斜角度45°がズれているときは、アーム右下部上段の45°位置調整ボルトのロックナットを緩め、45°位置調整ボルトを付属の六角棒レンチで調整してください。45°位置調整ボルトを時計回りに回すと機体が上がります、反時計回りに回すと機体が倒れます。
5. 傾斜角度が45°になりましたら、45°位置調整ボルトのロックナットを締め、ボルトを固定してください。
6. アーム付け根のマーカが、傾斜角度目盛の45°に合っているか確認し、ずれている場合はマーカのネジを緩め、マーカを傾斜角度目盛りの45°に合わせ、ネジを締めてください。



45°位置調整ボルトを回して、のこ刃の傾斜角度が45°になるよう調整



45°位置調整ボルト 傾斜角度調整レバー

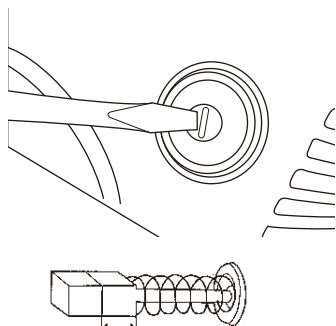
カーボンブラシの点検・交換

カーボンブラシが摩耗したままご使用になりますと、モーターの損傷に繋がります。時折り、カーボンブラシを点検いただき、早目の交換をお勧めします。

⚠ 警告

- カーボンブラシの点検・交換の際はスイッチが切れていることを確認し、コード プラグを必ず電源から抜いてください。

1. 図のように、⊖ドライバーでブラシキャップを外し、長さを確認してください。
2. カーボンブラシの摩擦面が荒れている場合や、カケ、割れの場合も交換をお勧めします。
3. カーボンブラシの交換目安は残り長さが6mmです。



*残り長さ6mmが交換の目安です。

保守・点検

⚠ 警告

- 事故防止のため、必ずスイッチを切り、コードプラグは電源からぬいておいてください。
- 本機を最適の条件でご使用いただくため、常に使用後は手入れを十分行なってから保管ください。

- ご使用後は本体に付着した粉塵など常に手入れをし、綺麗な状態で保管してください。
- 始・終業時には、各部の締付け部の緩みや、部品の欠落のないことを必ず確認してください。
- 緩んでいるところは締め直し、部品の欠落は部品の取付けをしてください。
- 各部にカケ、割れやヒビなどが無いことを定期的に点検してください。
- 長期間保管してあった場合は、ご使用前に絶縁性の安全を確認のうえ、ご使用ください。
- のこ刃は周速、規格に合ったものでカケ、割れやヒビがないか必ず確認してください。
- カーボンブラシの点検を行ってください。

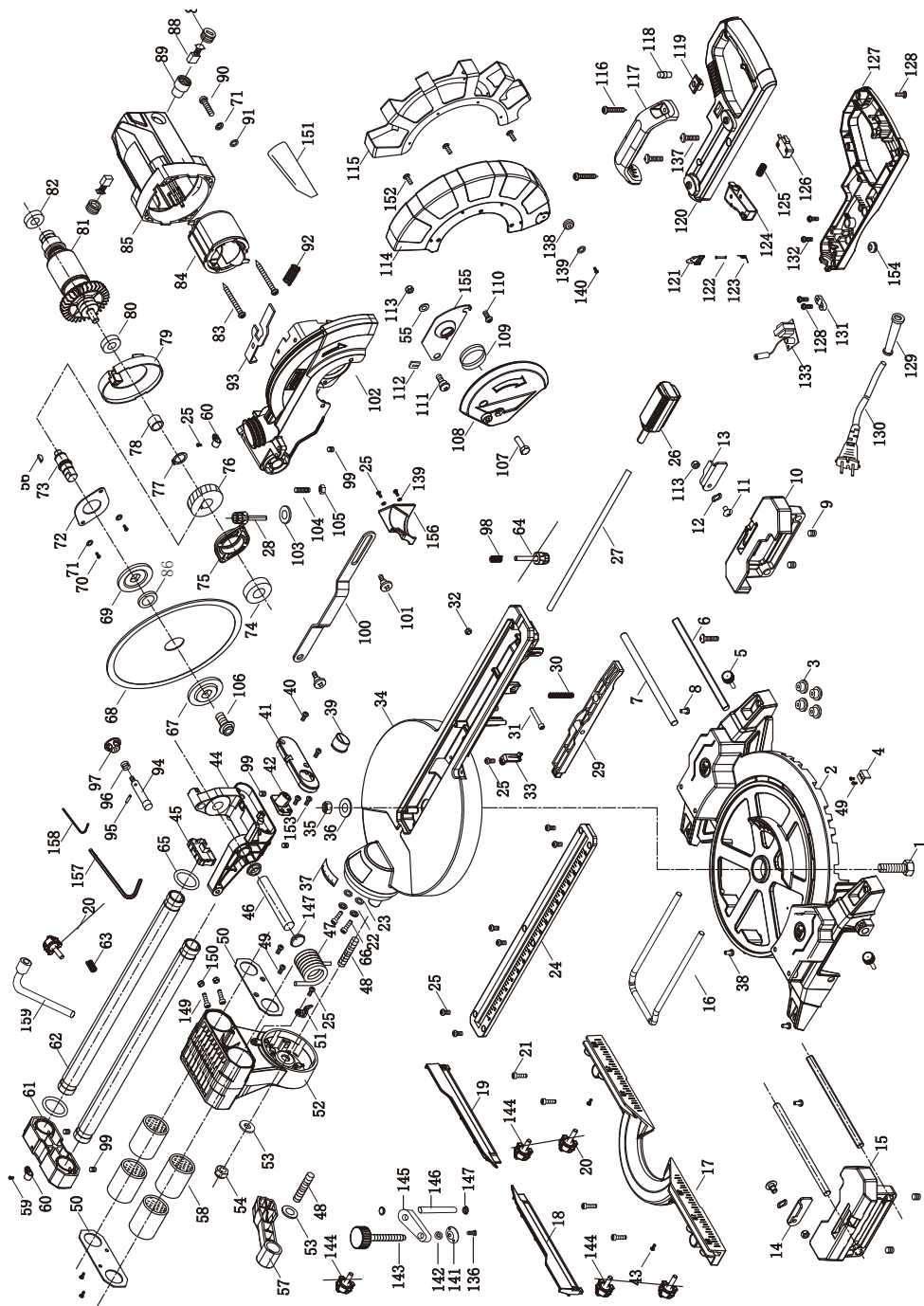
修理について

- 本機の修理には、専門知識、技術を必要とします。お買い求めの販売店または、弊社にご連絡ください。

アフターサービスについてのお願い

- (1) 製品の性能・品質または取扱などにつきましてのお問い合わせは、ご購入されました販売店様、または弊社へご連絡ください。
- (2) 修理に必要な純正部品は、分解図に記載された[部品No.][部品名]をお確かめになり、ご依頼願います。
 - ①ご要求の経路につきましては、
[お客様]→[ご購入されました販売店様]→[弊社]へ
 - ②お届けの経路につきましては、
[弊社]→[ご要求されました販売店様]→[お客様]へ
※弊社とお客様との直接販売は致し兼ねます。ご了承願います。
- (3) 修理及び修理お見積りのご依頼は、
 - ①ご依頼の経路につきましては、
[お客様]→[ご購入されました販売店様]→[[弊社]へ
 - ②修理完了品のお届け、および修理お見積りのご返事は、
[[弊社]→[ご依頼されました販売店様]→[お客様]へ
※[弊社とお客様との直接決済は致し兼ねます。ご了承願います。]

部品展開図



部品リスト

No.	部品名称	仕様	使用数
1	六角ボルト	M8×18	1
2	ベース		1
3	脚	ゴム	4
4	L板		1
5	六角穴付きボルト	M6×32	2
6	レールバー		2
7	レールバー		2
8	スクリュー	M5×8	2
9	六角穴付止めネジ	M6×6	4
10	補助ベース(右)		1
11	スクリュー	M6×12	2
12	ウエーブワッシャ	φ8	2
13	サイドガイド(右)		1
14	サイドガイド(左)		1
15	補助ベース(左)		1
16	スタンド		1
17	ガイドフェンス		1
18	補助ガイドフェンス(左)		1
19	補助ガイドフェンス(右)		1
20	固定ボルト	M6×28	3
21	六角穴付きボルト	M8×25	4
22	スプリングワッシャ	φ8	2
23	平ワッシャ	φ8	2
24	刃口板	ABS	1
25	ナベ小ネジ	M4×8	11
26	ターンテーブルグリップ		1
27	ハンドルバー		1
28	固定ボルト	M6×37	1
29	ターンテーブルストッパー		1
30	スプリング	65Mn	1
31	六角穴付きボルト	M5×35	1
32	ロックナット	M5	1
33	マーカ	ABS	1
34	ターンテーブル		1
35	ロックナット	M8	1
36	平ワッシャ	φ8	1
37	斜切目盛板		1
38	六角穴付止めネジ	M6×10	1
39	蓋	PC	1
40	スクリュー	M4×18	2
41	蓋	PA6	1
42	スリーブ	PA6	1
43	スクリュー	M6×16	2
44	ブラケット		1
45	レールキャップ	PA6	1
46	軸		1
47	スプリング	65Mn	1
48	スタッド	M10×40	2
49	スクリュー	M4×8	6
50	ベアリング押さえ		2
51	マーカ	ABS	1
52	ベアリングブラケット		1
53	平ワッシャ	φ10	2
54	ロックナット	M10	1
55	カラー		1
56	ウッドフキー		1
57	ストッパー		1
58	ニードルベアリング	φ40×φ25×35	4
59	スクリュー	M4×10	1
60	コード押さえ	PP	2
61	スライドレールブラケット	PA6	1
62	スライドレール	45#	2
63	スプリング	65Mn	1
64	アジャスター	M6×32PA6	1
65	Oリング		2
66	六角穴付ボルト	M8×16	2
67	外フランジ		1
68	のこ刃	φ190×t2×φ20	1
69	内フランジ		1
70	六角ナット	M5×16	2
71	スプリングワッシャ	φ5	6
72	ベアリング押さえ		1
73	スピンドル		1
74	ボールベアリング	6003	1
75	ベアリングブラケット		1
76	ハスバ歯車		1
77	軸用C型止輪	φ17	1
78	含油メタル		1
79	ファンガイド	PA6	1
80	ボールベアリング	6200	1

No.	部品名称	仕様	使用数
81	アーマチュア組立		1
82	ボールベアリング	608	1
83	スタッド	ST4.8×70	2
84	ステーター組立		1
85	ハウジング	PA6	1
86	カラー	PA6	1
87	ブラシキャップ		2
88	カーボンブラシ		2
89	ブラシホルダー		2
90	スクリュー	ST4.8×35	4
91	平ワッシャ	φ5	4
92	スプリング	65Mn	1
93	ストッパープレート		1
94	シャフト		1
95	スプリングピン	65Mn	1
96	スプリング	φ3×16	1
97	ノブ	PA6	1
98	スプリング	65Mn	1
99	六角穴付止めネジ	M6×6	5
100	レバー		1
101	スクリュー		2
102	ケーシング		1
103	丸ナット		1
104	六角穴付止めネジ	M6×20	1
105	六角ナット	M6	1
106	六角ボルト	M8×18	1
107	六角ボルト	M6×12	1
108	安全カバーベース		1
109	スリーブ	65Mn	1
110	スクリュー	M6×8	1
111	皿小ネジ	M6×7	1
112	止板		1
113	ロックナット	M6	1
114	安全カバー(内)	PC	1
115	安全カバー(外)	PC	1
116	スクリュー	ST4.8×20	2
117	取っ手	PA6	1
118	ロックピン	PA6	1
119	カバー	PA6	1
120	ハンドル(B)	PA6	1
121	ロック	PA6	1
122	スプリングピン	φ2×18	1
123	スプリング	65Mn	1
124	スイッチトリガー	PA6	1
125	スプリング	65Mn	1
126	スイッチ		1
127	ハンドル(A)	PA6	1
128	スクリュー	ST3.9×12	7
129	コードアーマ		1
130	コード		1
131	コード押え	PA6	1
132	スクリュー	M5×10	4
133			
134			
135			
136	スクリュー	M5	1
137	スクリュー	M5×28	1
138	ローラー	PA6	2
139	平ワッシャ	φ4	2
140	スクリュー	ST3.9×8	2
141	固定具		1
142	平ワッシャ	φ5	1
143	パイソック		1
144	固定ボルト		2
145	ステ		1
146	ピン		1
147	カラー	PA6	4
148			
149	六角穴付止めネジ	M8×25	2
150	六角ナット	M8	2
151	ダストバッグ		1
152	スクリュー	M4×8	3
153	スクリュー	M4×12	3
154	ブッシング		1
155	ベースプレート		1
156	ノズル	PA6	1
157	六角棒レンチ	6mm	1
158	六角棒レンチ	3mm	1
159	ボックスレンチ		1